

次期・金沢の農業と森づくりプラン骨子案についてのパブリックコメントにおけるご意見の概要と金沢市の考え方

1. 募集期間 令和7年11月28日（金）～令和7年12月27日（土）
2. 提出方法 メール、郵便、ファクシミリ又は窓口へ持参
3. 意見数 8件（意見者数2人）

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
1	「持続的な発展」「活性化」「未来につなぐ」といった前向きな言葉が多く使われているが、5年後に、金沢の農業や森林が具体的にどうなっているかが分かりにくいと感じた。	5年後の本市農林業のめざす方向については、本プランにおいて記載することとしています。
2	限られた人材や財源を有効活用するためにも、「何を優先し」、「何を諦めるか」、「どこを重点的に守るのか」といった判断基準を、市民にもわかるように示してほしい。	農林業の持続的な発展と農山村の活性化を推進するために本市が行うべき施策について、「基本方針」と「重点施策」「施策の方向」としてお示ししております。
3	数値目標の多くが、事業の回数や参加人数等が中心となっており、成果が見えにくい目標設定だと感じる。 市民が実感しやすい成果も目標として設定されるとよい。	「基本方針」と「重点施策」「施策の方向」を実現するための客観的な指標として、今回の KPI を設定しております。 今後、施策の実施にあたり、ご指摘のことも参考に取り組みまいります。
4	計画期間5年のうち2年目・3年目時点での中間到達目標や、目標未達時の軌道修正ルールなど、進め方の道筋が示されると安心感がある。 「必要に応じて見直す」という表現だけでなく、いつ、どのように振り返るのかも示してほしい。	本プランについては、有識者等で構成する「金沢市農林業振興協議会」において、毎年、定期的に施策の進捗状況を検証するとともに、必要に応じて、施策の見直し等を行うこととしています。
5	本骨子案には、 ・初年度に着手すべき重点施策 ・制度設計 → 実証 → 横展開の段階整理 といった、工程が明確に示されていない。 そのため、すべての施策が同時並行で走る前提となっており、現場の負担増・形骸化を招く恐れがある。	本プランに掲げている各施策の達成に向けて、関係団体等と連携を図りながら、着実に取り組んでまいります。

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
6	<p>市民や地域、行政など各主体の役割がわかりにくいため、市民として「何ができるのか」「どう関わられるのか」が見える計画になることを期待する。</p>	<p>本プランにおいて、市民や農業者、森林所有者、農林業団体、関連事業者、行政等が、それぞれ担うべき役割を記載することとしています。</p>
7	<p>「担い手育成」「交流人口」「体験事業」は、教育・移住・産業政策と横断的に設計しなければ成果が出ない分野である。</p> <p>また、現状の構成は「農業」と「森林」が分断されており、改善が必要である。</p>	<p>本プランでは、「農業」と「森づくり」はもとより、庁内関係部局とも十分に連携を図りながら、横断的に取り組むこととしています。</p>
8	<p>今後、少子高齢化等により担い手確保が困難となる中、高齢者の健康維持や生きがいを目的とした「経営を主としない農業」という視点も必要ではないか。</p> <p>農業のノウハウを持つ高齢者に対し、介護と連携した支援策を検討してはどうか。</p>	<p>今後、プランを推進していく中で、福祉との連携について検討してまいります。</p>

(注) ご意見については、一部要約して記載しています。